

器7 内蔵機能代用器
高度管理医療機器 腹膜透析用カテーテル 34921000

JMS 腹膜灌流カテーテル

再使用禁止

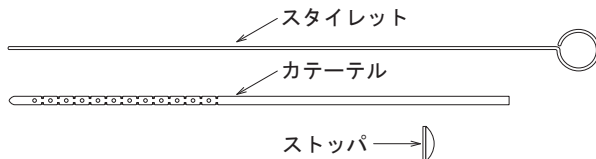
【禁忌・禁止】

- 再使用禁止

*【形状・構造等】

カテーテル、ストップ及びスタイレットからなる。スタイレットはあらかじめカテーテルに挿入されている。*

<構成（代表例）>



・上記構成と当該製品の構成が異なる場合がある

【性能・使用目的】

腹腔内へ挿入、留置し、腹膜透析液の注入、排出に用いる。

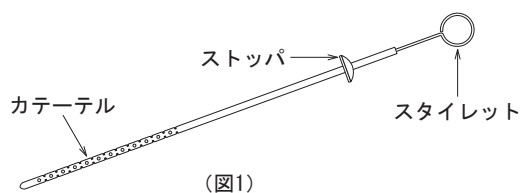
*【使用方法等】

1. ストップなしの場合

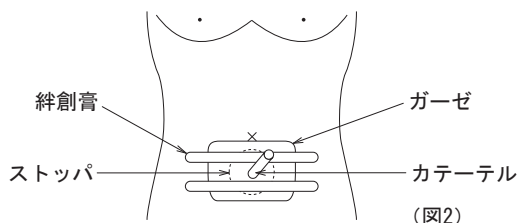
- (1) 手袋を装着します。*
- (2) 包装から本品を取出します。*
- (3) カテーテルを適当な形状に曲げ、腹腔内へ挿入します。*
- (4) カテーテル先端がダグラス窩に到達したらスタイレットを抜き、腹膜灌流セットに接続します。*
- (5) カテーテルの挿入部を巾着縫合した後、腹膜灌流を開始します。*

2. ストップ付の場合*

- (1) 手袋を装着します。*
- (2) 包装から本品を取出します。*
- (3) スタイレットをカテーテルから引き抜きストップをカテーテルに装着後、再びスタイレットを挿入します。（図1参照）*



- (4) カテーテルを適当な形状に曲げ、腹腔へ挿入します。*
- (5) カテーテル先端がダグラス窩に到達したらスタイレットを抜き、腹膜灌流セットに接続します。*
- (6) ストップの上にガーゼを置き、押さえるように絆創膏等で固定します。（図2参照）*



- (7) 腹膜灌流を開始します。*

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 接続部に薬液等が付着した場合は、緩みが生じるので注意すること。*

*【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 包装を開封したらすぐに使用すること。*
- 包装が破損、汚損している場合、及び製品に破損、変形等の異常が認められる場合は使用しないこと。*
- 併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、使用すること。*
- カテーテルの接続部を曲げたり、カテーテルを過度に引っ張ったり押し込むような負荷がかからないようにすること。[接続部の外れ液漏れ等が生じる可能性がある。]*
- 使用中は本品と腹膜灌流セットとの接続部の緩み、外れ、液漏れ等に注意し、定期的に確認すること。*

2. その他の注意

- 腹腔に挿入する部分に直接手を触れないこと。*
- 使用後は感染防止に配慮して安全な方法でただちに処分すること。*

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法

- 水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。*

2. 使用期限

- 箱の使用期限欄を参照すること。[自己認証（当社データ）により設定]

【包装】

10本入／袋

*【製造販売業者及び製造業者の名称及び住所等】

製造販売元及び製造元*

株式会社ジェイ・エム・エス

広島市中区加古町12番17号

郵便番号：730-8652

電話番号：082-243-5806